

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

## 1. 建物概要

建物名称	西新潟中央病院	
建設地	西区 真砂1丁目14番1号	
用途地域	商業地域、防火地域	
建物用途	病院	
竣工年	2015年1月 予定	
敷地面積	66,275.34 m <sup>2</sup>	
建築面積	3,365.55 m <sup>2</sup>	
延床面積	14,919.80 m <sup>2</sup>	
階数	地上7F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2012年1月30日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{57}{41} = 1.4$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

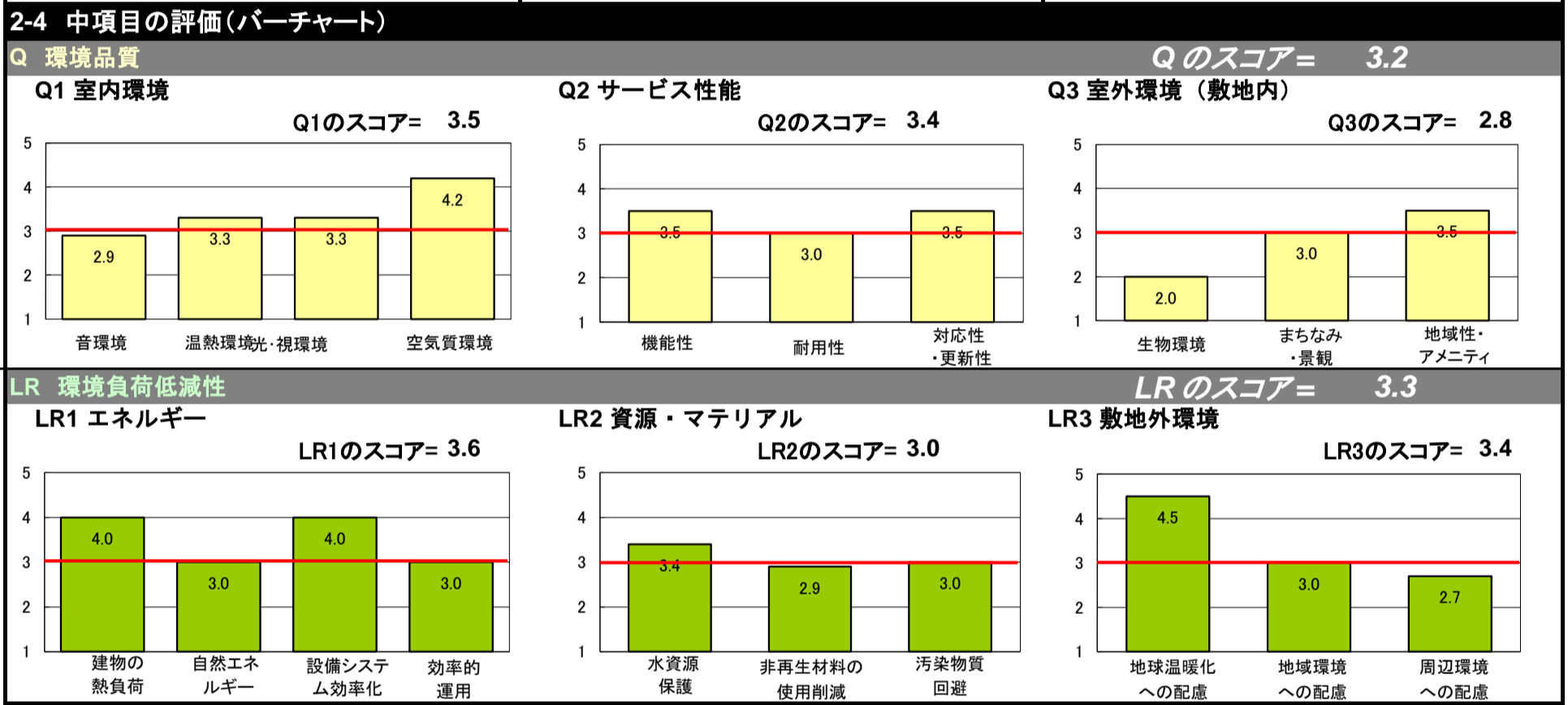
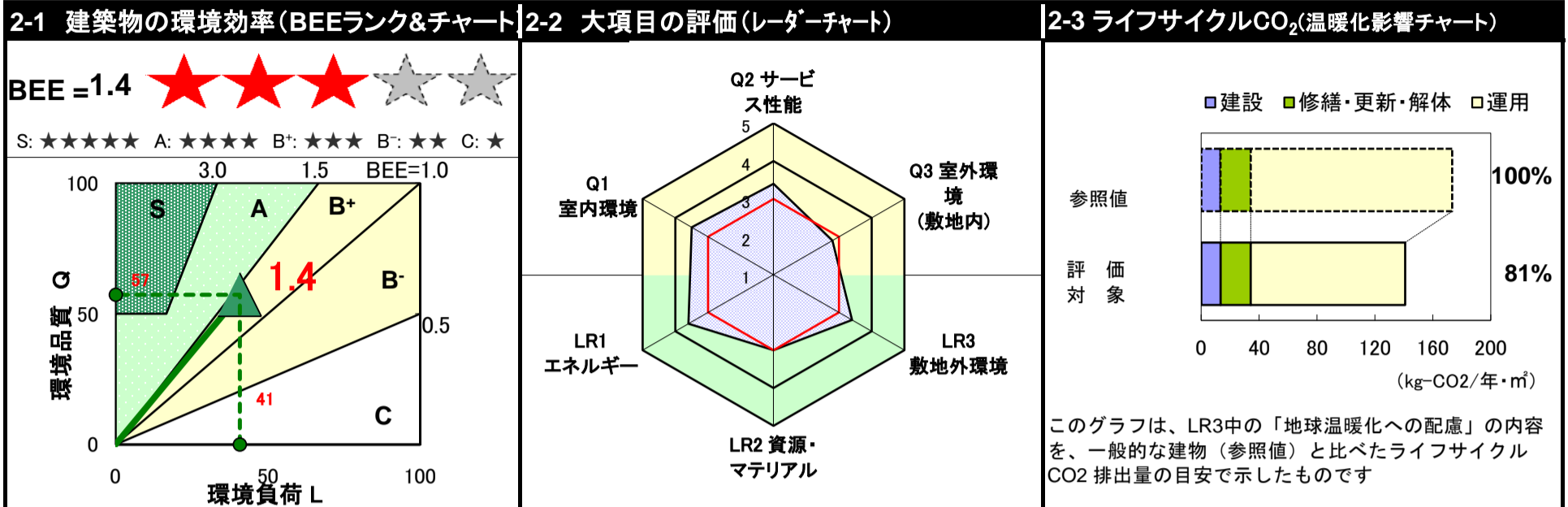
- 維持管理: 運用・維持管理及び感染・衛生面を考慮した内装を採用。
- 信頼性: 非常用発電設備、無停電電源設備を備えている。
- 節水: 節水型機器を採用。
- 敷地内温熱環境の向上: 敷地内の緑地面積を多く計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE®新潟

# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.2)



### 2-5 設計上の配慮事項

総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>院内環境の向上 ・ 動線・設備等機能性向上 ・ 防災・避難設備の充実</li> <li>状況変化における拡張性の充実 ・ ライフサイクルコストの重視 ・ 地域特性への対応</li> <li>周辺住民への対応</li> </ul>		
<b>Q1 室内環境</b> ・ 各階病室系統(南北)、スタッフステーション系統に系統分けを行い系統毎の冷房・暖房の選択が可能な計画とした。 ・ 全熱交換型空調換気扇を採用	<b>Q2 サービス性能</b> ・ 耐久性仕上材の採用 ・ 清掃の作業性向上 ・ 軽量間仕切りの採用	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・ 緑地の確保
<b>LR1 エネルギー</b> ・ トイレ等は人感センサーにて使用時のみ点灯する計画とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・ 再生資材の活用	<b>LR3 敷地外環境</b> ・ 敷地境界よりの距離を確保した建屋計画とし、既存の緑地を保全し敷地外への熱的影響や騒音・振動を低減する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される